SHIMADZU
Excellence in Science

150 YEARS ANNIVERSARY

個人投資家様向け会社説明資料
（証券コード：7701）

株式会社島津製作所
コーポレート・コミュニケーション部　IRグループ

本説明資料に記載の将来の業績に関する内容は、経済情勢・為替・テクノロジーなど様々な外部変動要素により、事前見通しと異なる結果となることがあります。

目次

1．会社概要
2．島津の科学技術と研究開発体制
3．事業概要
4．中期経営計画
5．ESGの取り組み
6．その他

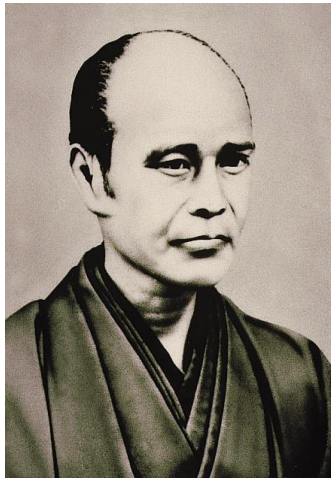
Copyright © Shimadzu Corporation. All Rights Reserved.

1．会社概要
2．島津の科学技術と研究開発体制
3．事業概要
4．中期経営計画
5．ESGの取り組み
6．その他

Copyright © Shimadzu Corporation. All Rights Reserved.

会社概要

社　是　：科学技術で社会に貢献する
経営理念　：「人と地球の健康」への願いを実現する
島津グループサステナビリティ憲章：地球・社会・人との調和を図りながら、”事業を通じた社会課題の解決“と”社会の一員としての責任ある活動“の両輪で企業活動を行い、明るい未来を創造します



初代島津源蔵
（1839-1894）

社名・所在地	株式会社 島津製作所 京都市中京区西ノ京桑原町1
創業	1875年（明治8年）3月
資本金	266億円
売上高	5,390億円
従業員	連結14,481名
連結子会社数	国内23社　海外58社（2025年3月31日現在）

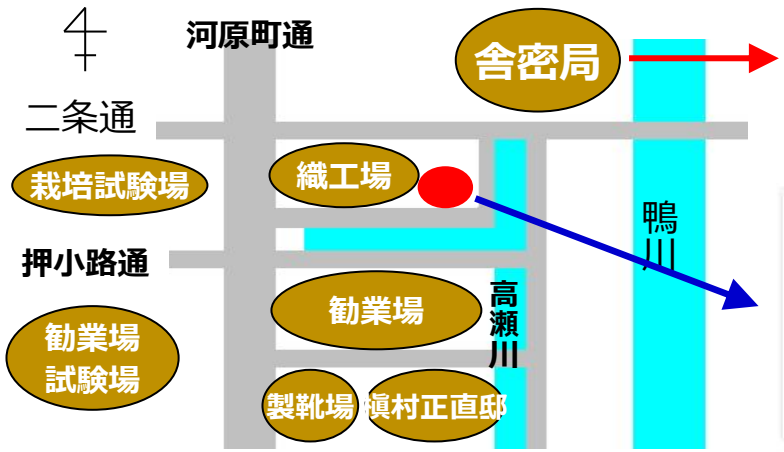
本社・工場（京都市）

Copyright © Shimadzu Corporation. All Rights Reserved.

歴史　創業当時の京都

西暦	明治	島津の歴史	世の中の出来事
1868年	元年	明治維新以降、廃仏毀釈などで仏具の需要が低迷	京都府庁　開庁
1869年	2年	コア技術　**仏具製造で培われた製造技術**	日本最初の小学校設立
1870年	3年	↓	京都舎密局　開局
1875年	8年	**島津製作所　創業（理化学器械の製造）**	槇村正直氏が京都府知事に就任
1877年	10年	槇村京都府知事の要請により、**軽気球飛揚**	京都 ～ 神戸間に鉄道開通（京都駅の開設）

科学技術の集積地



1895年頃の木屋町 本店

槇村 知事
(1834-1896)

創業者　島津源蔵
(1839-1894)

軽気球飛揚に成功（1877）

創業時の理化学器械

Copyright © Shimadzu Corporation. All Rights Reserved.

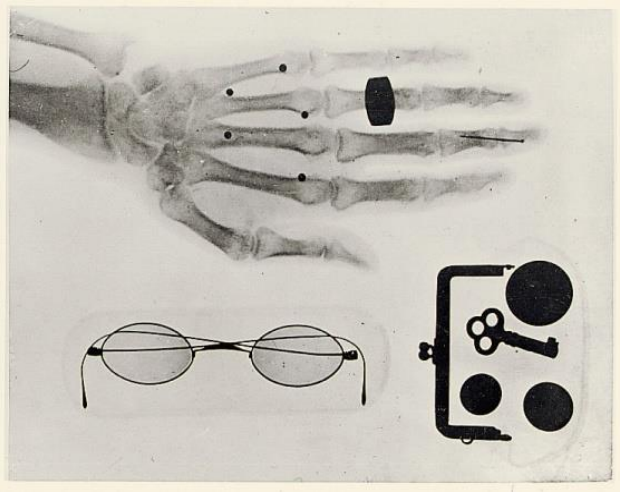
歴史　事業の礎

西暦	明治	島津の歴史	世の中の出来事
1895年	28年	科学標本部を新設	レントゲン博士がＸ線を発見
1896年	29年	Ｘ線写真の撮影に成功（第三高等学校(京都大学の前身)と共同開発)	第1回オリンピック開催（アテネ）
1897年	30年	蓄電池（GSバッテリー）の製造開始	京都帝国大学　設立
		教育用X線装置の開発	
1909年	42年	国産初の医療用X線装置の開発	

初期の鉛蓄電池

二代 源蔵
(1869-1951)

第三高等学校
(京都大学の前身)
村岡教授
(1853-1929)



初期のX線写真(1896)

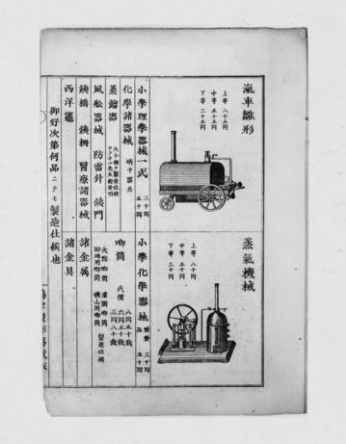
教育用X線装置
（1897）

医療用X線装置撮影の様子

Copyright © Shimadzu Corporation. All Rights Reserved.

歴史　事業の変遷

■二代島津源蔵は、社会が求める様々なものを形にした。その後変遷を経て、現在の四つの事業セグメント体制へ



理化器械目録表
（島津製作所最古の製品カタログ）

二代 源蔵
(1869-1951)

1875年創業

理化学機器 → 計測機器 → 日本の教育レベルの向上や、研究開発・品質管理を通じて産業発展に貢献 → 計測機器セグメント

理化学機器 → 科学標本（1891年） → **1948年** 京都科学標本（現　株式会社京都科学）

科学標本 → **1925年** 日本のマネキン業界の基礎を作り、業界発展に貢献

蓄電池（1897年） → **1917年** 日本電池（現　株式会社ジーエス・ユアサ コーポレーション）

日本電池 → **1937年** 日本輸送機（現　三菱ロジスネクスト株式会社）

日本電池 → **1929年** 大日本塗料株式会社

医療用X線装置（1896年） → X線画像処理技術で、早期診断・治療を可能にし、人の健康管理に貢献 → 医用機器セグメント

1936年 航空機器 → 信頼性の高い加工技術で安全・安心な飛行を実現 → 航空機器セグメント

1919年 歯車・油圧機器 → コストパフォーマンスが良く、生産現場で装置や車両に採用されるキーコンポーネントが産業を支援 → 産業機器セグメント

真空ポンプ（1914年） → コストパフォーマンスが良く、生産現場で装置や車両に採用されるキーコンポーネントが産業を支援 → 産業機器セグメント

※㈱ジーエス・ユアサ コーポレーション、三菱ロジスネクスト㈱、大日本塗料㈱、㈱京都科学はグループ会社ではございません

Copyright © Shimadzu Corporation. All Rights Reserved.

グローバル事業展開

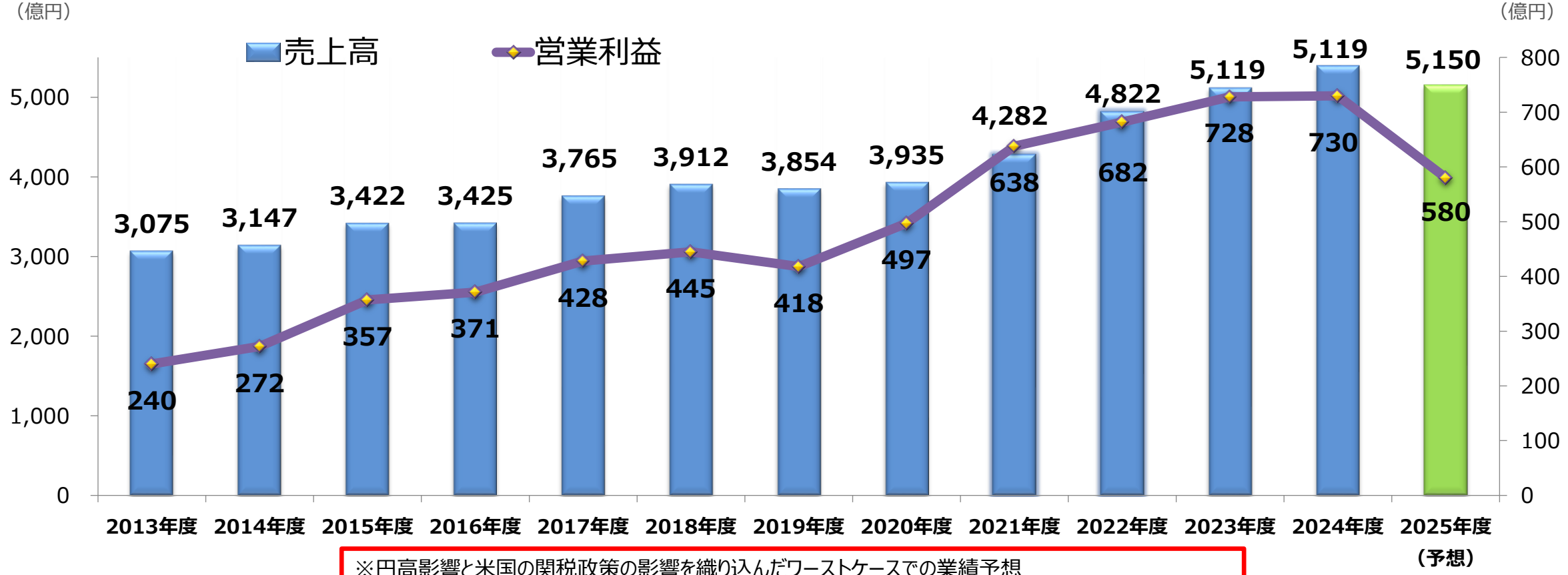
■27か国に拠点を設け、地域毎に異なるニーズに応える（2024年度の海外売上高比率は56%）

連結子会社数：海外58社・国内23社（2025年3月31日現在）

Copyright © Shimadzu Corporation. All Rights Reserved.

売上高・営業利益推移

- 10年間の年平均成長率（2015から2024年度までのCAGR）は、売上高5%、営業利益8%
- 2025年度：円高影響と米国の関税影響（関税率10%、猶予期間後は関税率24%を適用）を織り込むワーストケース ※



※円高影響と米国の関税政策の影響を織り込んだワーストケースでの業績予想
前提：90日間10%の相互関税、90日経過後は追加関税発動
主な影響：①世界経済悪化による売上減少（間接的）、②米国輸入部品のコスト増（直接的）

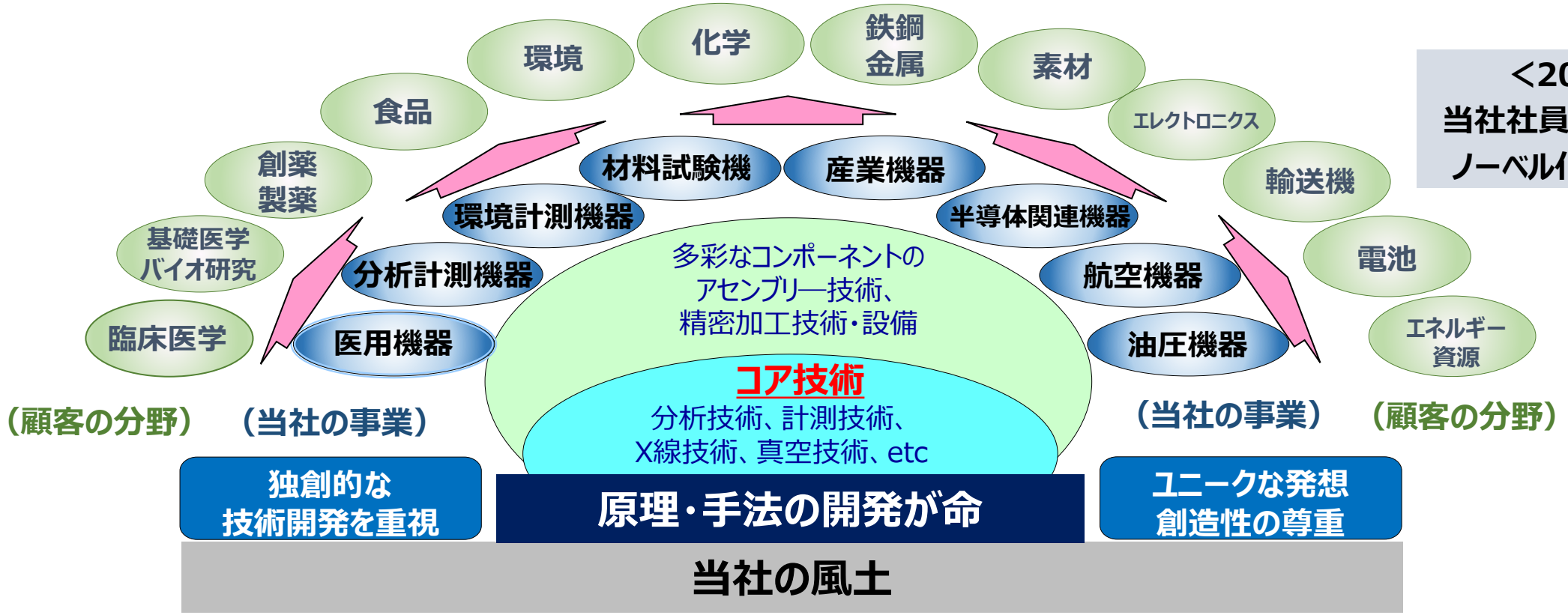
Copyright © Shimadzu Corporation. All Rights Reserved.

1．会社概要
2．島津の科学技術と研究開発体制
3．事業概要
4．中期経営計画
5．ESGの取り組み
6．その他

Copyright © Shimadzu Corporation. All Rights Reserved.

島津の風土・強み

- 時代が変わっても「科学技術で社会に貢献する」の社是に忠実に行動
- ニッチであっても、様々な分野の顧客の要請に真摯に応える姿勢
- 産業の進歩・発展に対応し、貢献するための技術開発力の追求



＜2002年＞
当社社員、田中耕一が
ノーベル化学賞を受賞

Copyright © Shimadzu Corporation. All Rights Reserved.

研究開発体制

- 研究開発から製品・アプリケーション開発まで一貫した体制を構築
- イノベーションセンターを設置し、研究機関・企業・大学との連携を強化

アプリケーション技術開発

特許保有件数
8,554件
（うち国内4,645件、海外3,909件）
2024年度実績

製品・サービスの提供

Shimadzu Tokyo Innovation Plaza

イノベーションセンター

アプリケーション開発センター

ニーズ

研究開発費
289億円
対売上高比率5.4%
2024年度実績

基盤技術研究

Shimadzu みらい共創ラボ

田中耕一記念質量分析研究所

研究所

基礎研究

製品・サービス開発

英国 Kratos

中国 開発センター

ヘルスケアR&Dセンター

Copyright © Shimadzu Corporation. All Rights Reserved.

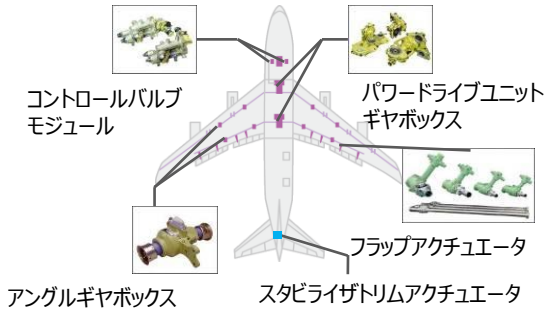
1．会社概要
2．島津の科学技術と研究開発体制
3．事業概要
4．中期経営計画
5．ESGの取り組み
6．その他

Copyright © Shimadzu Corporation. All Rights Reserved.

4つの事業セグメント

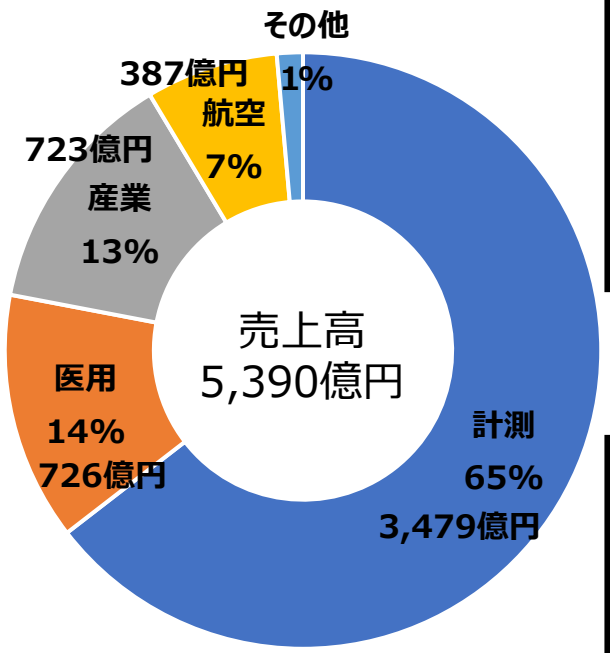
■ 計測・医用・産業・航空の４つの事業を展開

航空機器



フライトコントロールシステム

最先端の搭載機器を提供し、「安全・快適、負荷軽減」に貢献



2024年度
セグメント別売上高比率

計測機器

高速液体クロマトグラフ質量分析システム

分析計測機器を提供し、様々な分野で、研究や技術開発、品質管理に貢献

産業機器

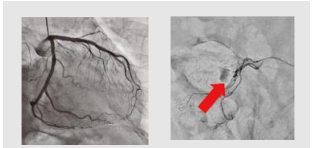
高性能なキーコンポーネントを提供し、最先端のものづくりの発展に貢献

ターボ分子ポンプ
（真空ポンプ）

油圧ギヤポンプ

医用機器

X線画像診断装置を提供し、人の健康の維持・向上に貢献



心臓　腹部

血管撮影システム

Copyright © Shimadzu Corporation. All Rights Reserved.

事業概要

計測機器事業

■ 最先端の分析技術で医薬、環境、ライフサイエンスなど様々な分野での研究開発・品質管理に貢献

社会課題

ヘルスケア（ライフサイエンス、メドテック）	グリーン（GX）	マテリアル	インダストリー
・少子高齢化による医療、社会保障費の負担増 ・病気の超早期診断、予防診断、感染症対策（予防・迅速診断）	カーボンニュートラル実現に向けた再生可能エネルギーの活用拡大	自動車や航空機など輸送機における高機能材料の信頼性向上を支援	

提供価値

・認知症・がん・生活習慣病などの早期診断等、人々の健康維持に貢献
・高度な分析技術により、新薬開発や生産性向上に貢献

高速液体クロマトグラフ質量分析システム

新型コロナウイルス検出試薬キットなどの感染症の検査技術開発や、データ管理、ウイルスモニタリングなどの感染症拡大防止に貢献

全自動PCR検査装置

新型コロナウイルス検査試薬

残留農薬や水質検査、包装容器に含まれる規制物質の評価など、規制対応による食の安心・安全の確保に寄与

ガスクロマトグラフ

クリーンエネルギー技術開発に役立つシステム・アプリケーションを提供し、脱炭素化社会実現に貢献

オンラインTOC計

エネルギー分散型蛍光X線分析装置

各種材料の強度試験や、非破壊での内部状態解析など、主に輸送機分野で燃費改善や安全性確保のための新素材開発に貢献

精密万能試験機

マイクロフォーカスX線CTシステム

Copyright © Shimadzu Corporation. All Rights Reserved.

事業概要

計測機器事業

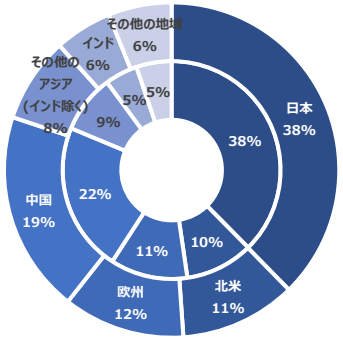
■ 2024年度：売上高はヘルスケア、グリーン向けが伸長し5期連続で過去最高を更新
■ 2025年度：投資が進む市場での拡大、新製品投入による付加価値訴求で影響を最小限に抑える ※

■顧客
製薬・食品・自動車・化学会社、医療機関、受託分析会社、
大学や政府の研究機関

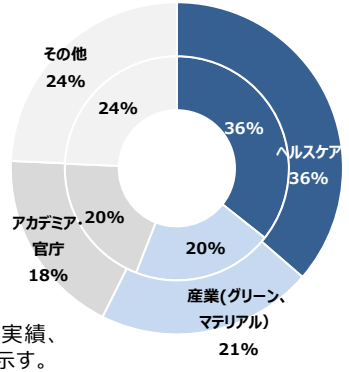
■市場
市場規模約800億ドル。年成長率5-6%
装置とリカーリング（メンテナンス・消耗品等）の比率は5：5

■競合（主に米国企業）
Thermo Fisher Scientific, Inc.、Agilent Technologies, Inc
Danaher Corporation、Waters Corporation

地域別売上比率



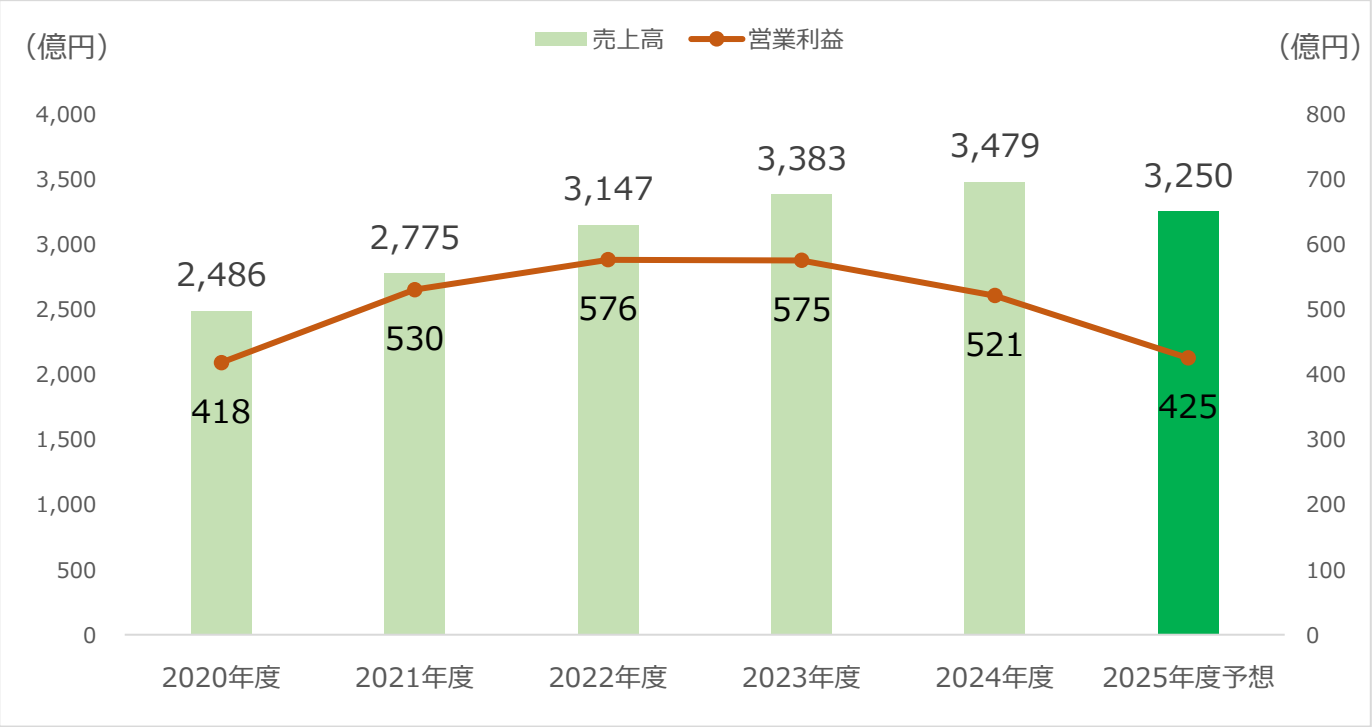
市場別売上比率



※円グラフ外側は2024年度実績、
内側は2023年度実績を示す。

業績推移

※円高影響と米国の関税政策の影響を織り込んだワーストケースでの業績予想
前提：90日間10%の相互関税、90日経過後は追加関税発動
主な影響：①世界経済悪化による売上減少（間接的）
②米国輸入部品のコスト増（直接的）



Copyright © Shimadzu Corporation. All Rights Reserved.

事業概要

医用機器事業

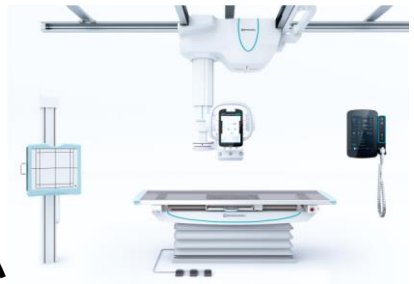
- 最先端のイメージング技術で、患者負担が軽く使用しやすい医療システムを提供
- 感染症や脳/心疾患、がんなど様々な疾患の早期発見、早期治療に貢献

社会課題 身体の不調を早期に発見し、疾患の原因をより詳細に解明する検査技術の高度化への対応

提供価値

骨折や肺炎など全身のX線画像診断に使用

骨折や肺炎など全身のX線画像診断に使用
近年は画像処理アプリケーションも広がり、その用途が拡大



一般撮影システム

病棟のベッドサイドや院内の様々な場所でX線撮影ができ、その場で迅速な容態確認が可能
感染症や災害時のX線画像診断にも使用

回診用X線撮影装置

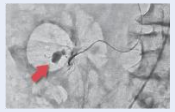
心疾患・脳血管疾患のカテーテル治療支援

血管撮影システム

SCORE PRO Advance

医療デバイスの視認性向上

SCORE RSM



体動に強く。低被ばく撮影が可能

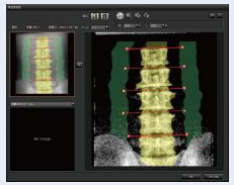
心の病の診断や脳卒中リハビリテーションで活躍

近赤外光で脳活動を計測し、うつ病の診断補助が可能
また脳活動の可視化で、リハビリテーションを支援

近赤外光イメージング装置

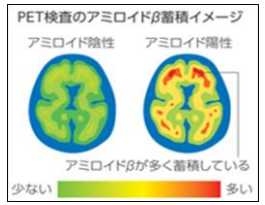
高齢化で増える内臓・骨疾患の画像診断に対応

X線TVシステム



骨密度計測

頭部・乳房に特化した世界発のTOF-PET装置



TOF-PET装置

これ1台で頭部・乳房両方の検査ができるだけでなく、より正確ながん（頭部・乳房）や認知症の検査が可能

Copyright © Shimadzu Corporation. All Rights Reserved.

事業概要

医用機器事業

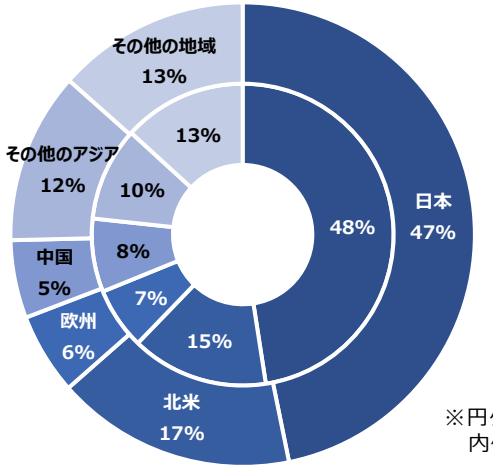
■ 2024年度：日本・中国・欧州では市況回復遅れにより減少、北米でX線機種、インドで血管撮影システムが増加
■ 2025年度：新製品によるX線機種と血管撮影システムを展開、保守契約拡大により成長を目指す

■顧客
病院などの医療機関

■市場
X線診断装置は約70億ドル。年成長率3-4%
国別で医用機器としての認証が必要。単一国家で人口が多い米国、中国、日本が重要地域

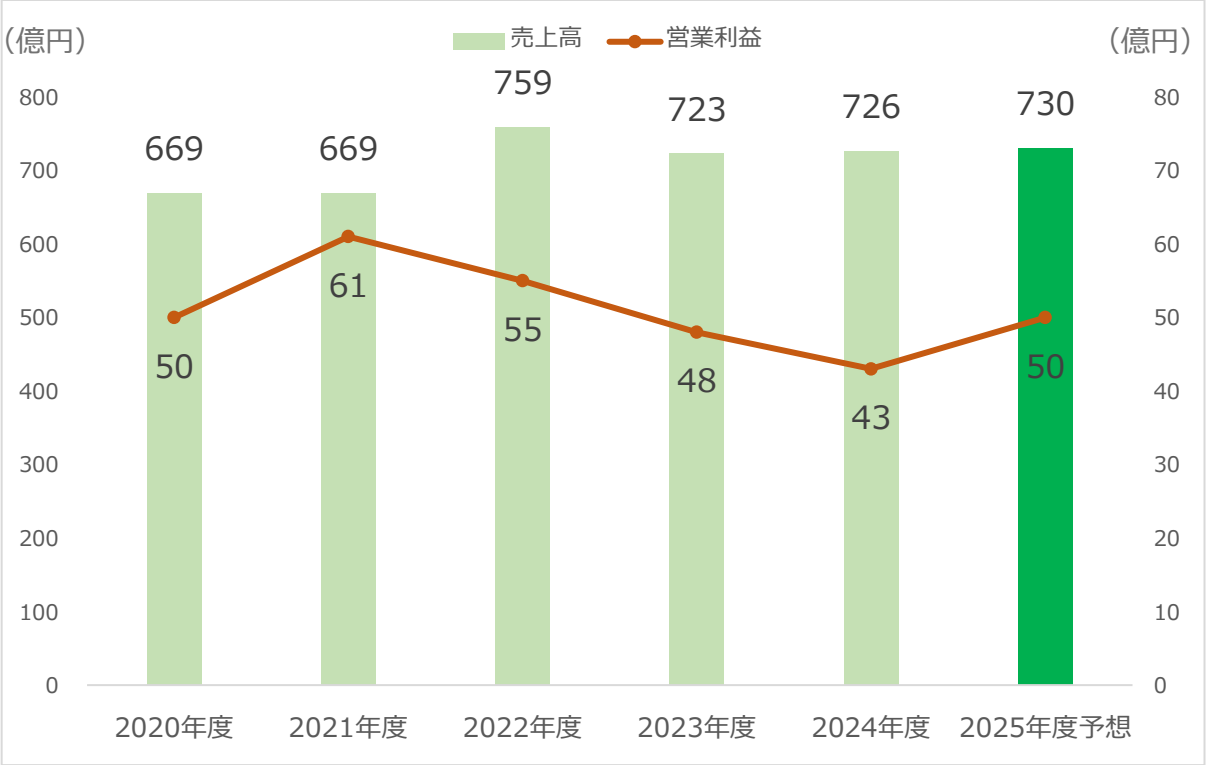
■競合
Koninklijke Philips N.V.、Siemens Healthineers AG、GE Healthcare、キヤノン㈱、富士フイルム㈱

地域別売上比率



※円グラフ外側は2024年度実績、内側は2023年度実績を示す

業績推移



Copyright © Shimadzu Corporation. All Rights Reserved.

産業機器事業

■ ターボ分子ポンプや高度な油圧技術を駆使した機器・部品など、高品質、高性能なキーコンポーネントを提供し、産業の発展に貢献

社会課題 持続可能かつ強靭なインフラ開発。脱炭素社会の実現に向けた世界的な取り組み

提供価値

半導体やディスプレイの製造に

真空環境を創りだす、高性能ポンプ
主に半導体製造装置に搭載

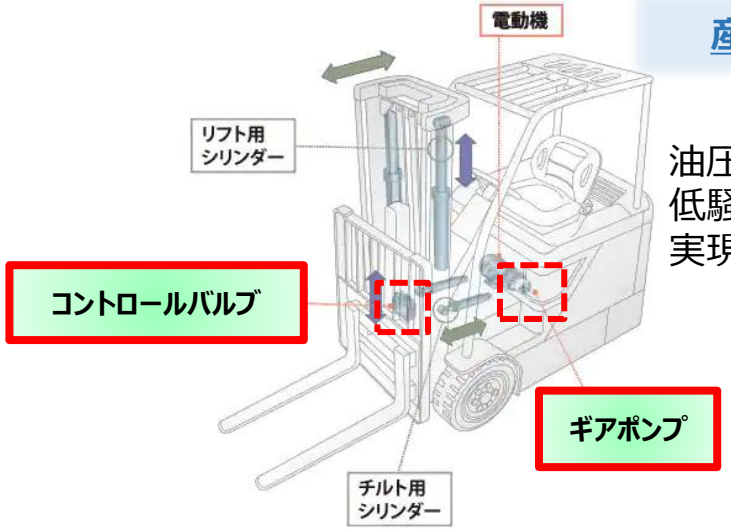
ターボ分子ポンプ

次世代モビリティ分野の発展を支える

車載部品向けセラミックス素材の
焼結に利用

工業炉

産業車両・建機・農機の油圧動力源



油圧ギアポンプの
低騒音・低振動を
実現

油圧ギアポンプ

油圧ギアポンプからの作動油の方向、
圧力、流量を調整

**油圧コントロール
バルブ**

Copyright © Shimadzu Corporation. All Rights Reserved.

事業概要

産業機器事業

■ 2024年度：半導体製造装置向けターボ分子ポンプや工業炉の増加により、過去最高業績を更新
■ 2025年度：半導体向けTMPの拡販とアフターサービス強化で成長を目指す

ターボ分子ポンプ

■顧客

半導体製造装置メーカー、フラットパネルディスプレイメーカー

■市場

半導体製造装置需要と連動

油圧機器

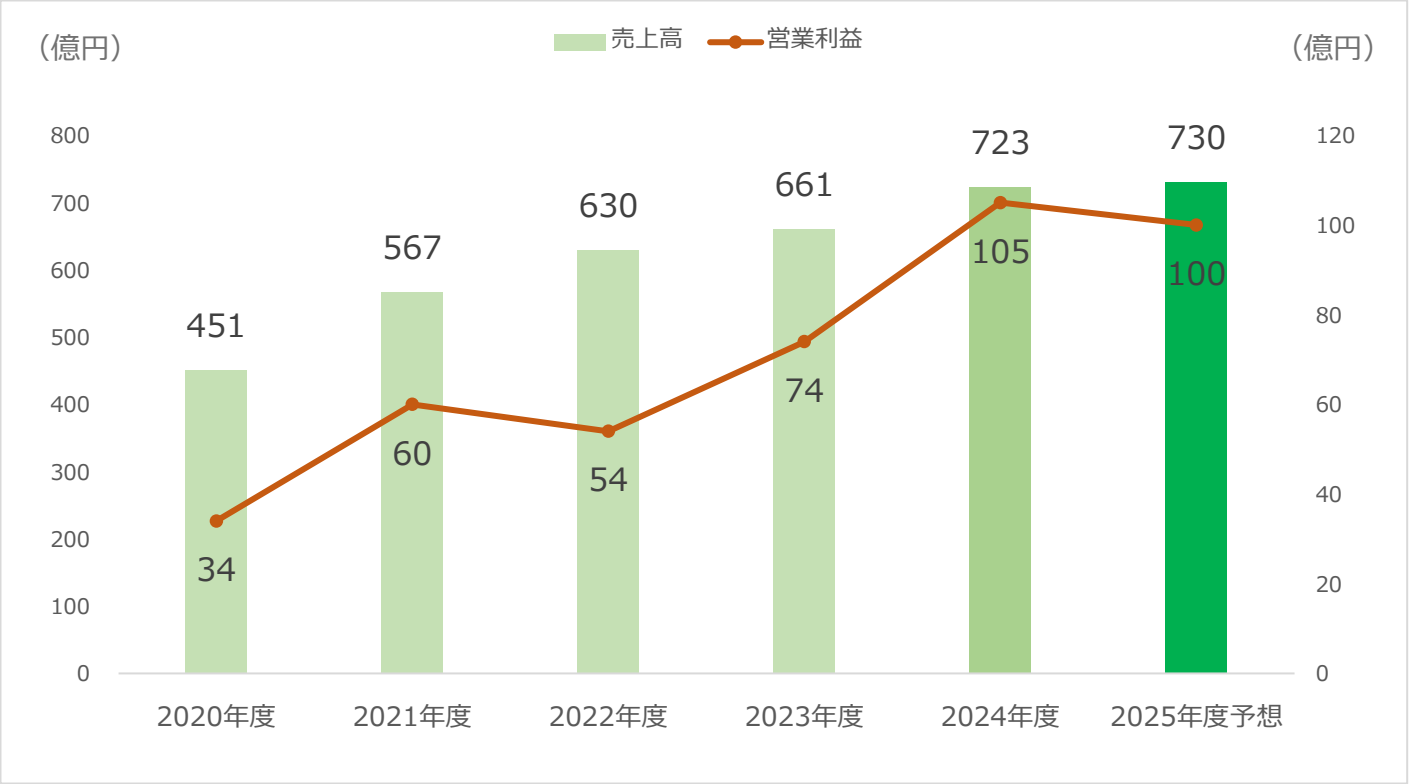
■顧客

フォークリフトメーカー、小型建機メーカー、農業機械メーカー

■市場

物流（産業車両）・建設機械市場・農業機械市場と連動

業績推移



Copyright © Shimadzu Corporation. All Rights Reserved.

事業概要

航空機器事業

- 先端技術と高度な精密加工技術を統合した搭載機器・部品やシステムを提供し、安心・安全な社会の実現に貢献
- 防衛省向けと民間航空機市場向けに展開（防衛：民間＝3：1）

社会課題　社会インフラの強靭化。モビリティ分野で、安全性、環境保全確保、快適性の追求

提供価値

エアマネジメントシステム

航空機内の温度と圧力を調整するエアマネジメントシステム。機能環境を統合的に最適化する解析・評価能力で快適環境の提供に貢献

コックピット・ディスプレイ・システム

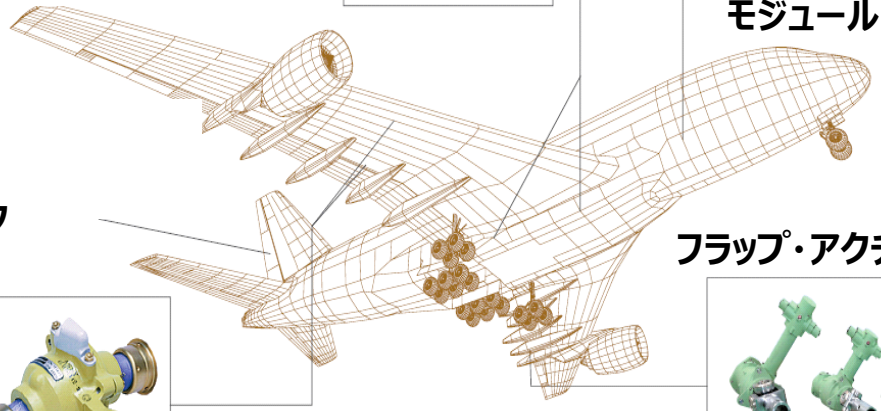
ヘルメット
マウンテッド
ディスプレイ

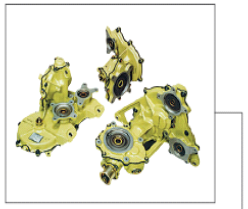
ヘッドダウン
ディスプレイ

高度・速度・方位などの飛行情報を投影する装置。高度な電子技術と光学技術を駆使し、パイロットの負荷軽減、飛行安全に貢献

フライトコントロールシステム

高品質なメカニカル技術や今信頼性の電子制御技術で安全な飛行に貢献



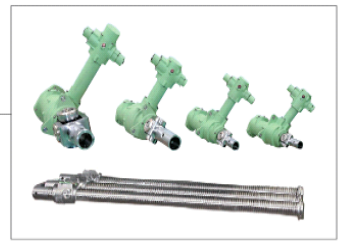


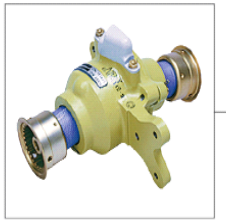
パワー・ドライブ・
ユニット・ギヤボックス

コントロール・バルブ・
モジュール

スタビライザ・
トリム・
アクチュエータ

フラップ・アクチュエータ





アングル・ギヤボックス

Copyright © Shimadzu Corporation. All Rights Reserved.

事業概要

航空機器事業

■ 2024年度：防衛市場向け総利益率向上などにより、過去最高業績を更新
■ 2025年度：好調な需要を背景に高い売上を維持、利益は防衛案件影響により減少を見込む

防衛分野

■顧客

防衛省、機体メーカー、エンジンメーカー

■市場

国家の安全保障に係る事業のため、景気に左右されない

民間航空機分野

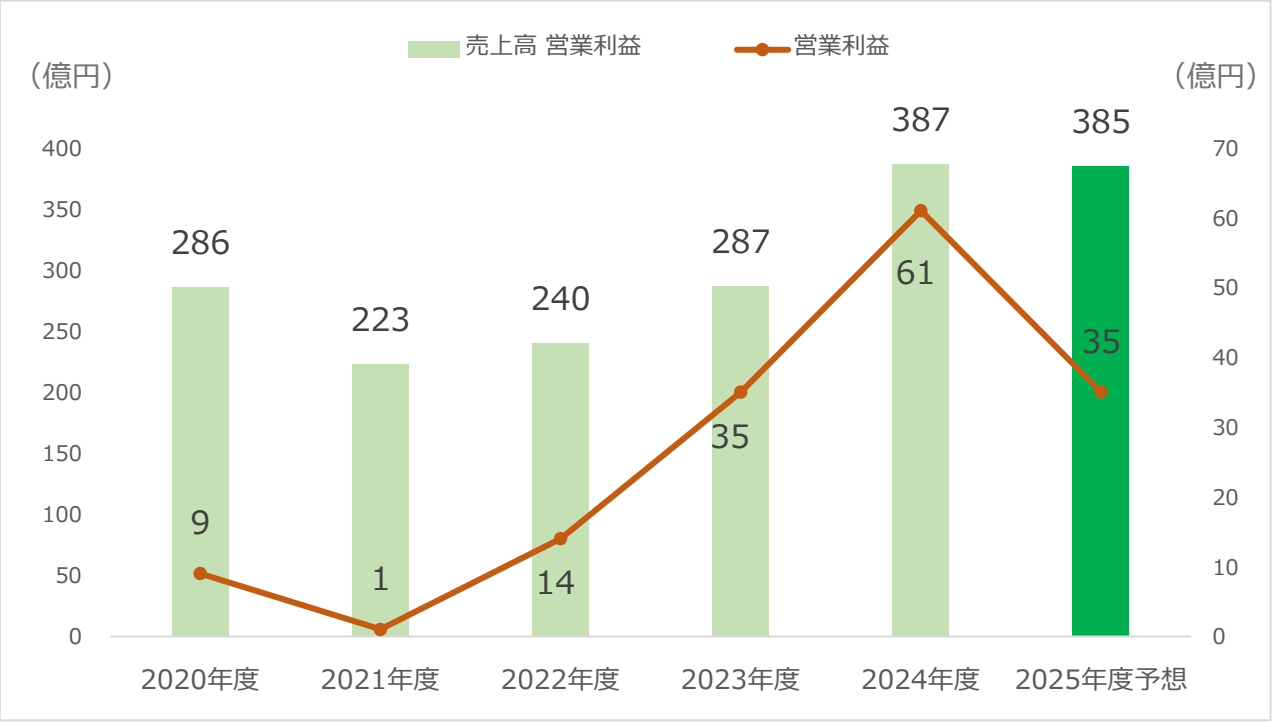
■顧客

海外機体メーカー、航空機用エンジンメーカー、航空会社など

■市場

・航空旅客需要は増加
・国際基準に照らした認証の取得や、品質管理水準の要求が高いため、開発・製造に高度な技術力が必要

業績推移



Copyright © Shimadzu Corporation. All Rights Reserved.

1．会社概要
2．島津の科学技術と研究開発体制
3．事業概要
4．中期経営計画
5．ESGの取り組み
6．その他

Copyright © Shimadzu Corporation. All Rights Reserved.

当社の目指す姿

- 新型コロナウイルスとの闘いを通して、「人の命と健康」への意識が高まっている
- サステナビリティへの関心が高まり、「地球の健康」が重要社会課題に

ヘルスケア領域

人の命と健康への貢献

グリーン領域

地球の健康への貢献

プラネタリーヘルス
(人と地球の健康)の追求

SUSTAINABLE DEVELOPMENT GOALS

マテリアル領域

インダストリー領域

産業の発展、安心・安全な社会への貢献

社　　是　：科学技術で社会に貢献する
経営理念：「人と地球の健康」への願いを実現する
島津グループサステナビリティ憲章

Copyright © Shimadzu Corporation. All Rights Reserved.

中期経営計画の位置づけ

■ 事業拡大と、事業部の垣根を越えてトータルソリューションを提供する企業へ変革

2026～	お客様と共に持続的に成長
	顧客軸・領域軸で 社会価値創生事業を展開
新中期 経営計画 2023年度-2025年度	**事業拡大と “お客様(領域)中心”志向 への体制変革**
～2022	世界のパートナーと社会課題の解決に取り組む企業へ －社会課題解決のための仕組み作りと社会実装－

Best for Our Customers !

お客様を中心とする事業展開へ

価値＝お客様の必要な「データ」

●お客様の必要な「データ」をお届けする

トータルソリューション提供企業

「お客様の近くで、お客様の言葉で」

製品を軸とする事業展開

価値＝製品

●お客様の必要な「製品」をお届けする

ハード提供企業

Copyright © Shimadzu Corporation. All Rights Reserved.

基本方針

世界のパートナーと共に社会課題を解決するイノベーティブカンパニーへ
～技術開発力と社会実装力の両輪強化により持続的成長を果たす～

5つの事業戦略

- 重点事業強化
  LC、MS、GC、試験機、TMP
- メドテック事業の強化
- 海外事業の拡大
  - 北米強化 -
- リカーリングビジネスの強化、拡大
- 新事業・将来事業の創出

7つの経営基盤強化

- ガバナンスの強化
- 開発スピード強化
- 国際標準化・規制対応力の強化
- グローバル製造の拡大
- DX推進
- 人財戦略：島津人の育成
- 財務戦略：攻めの財務へ

Copyright © Shimadzu Corporation. All Rights Reserved.

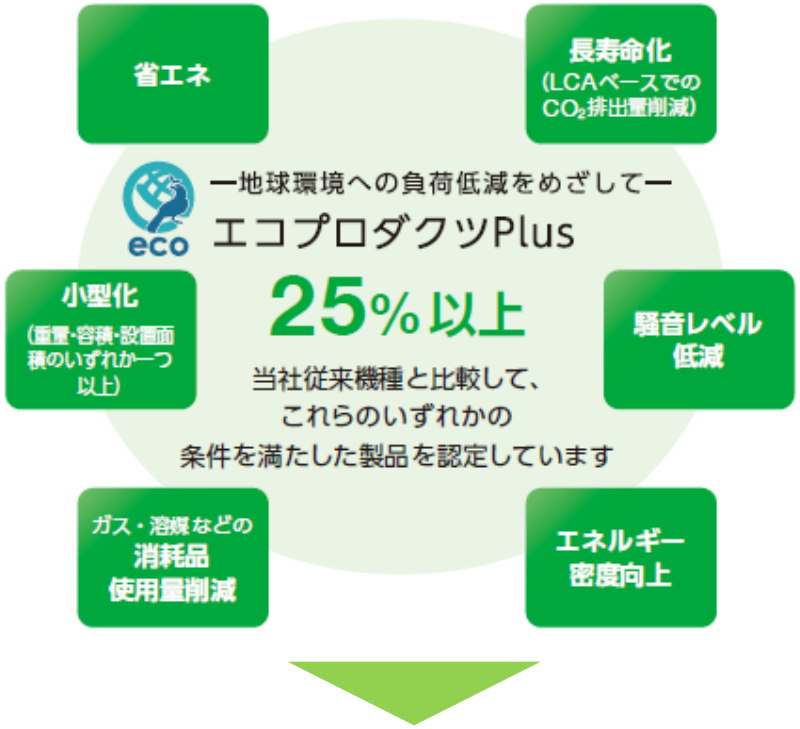
1．会社概要
2．島津の科学技術と研究開発体制
3．事業概要
4．中期経営計画
5．ESGの取り組み
6．その他

Copyright © Shimadzu Corporation. All Rights Reserved.

「すべての製品のエコ化」を推進

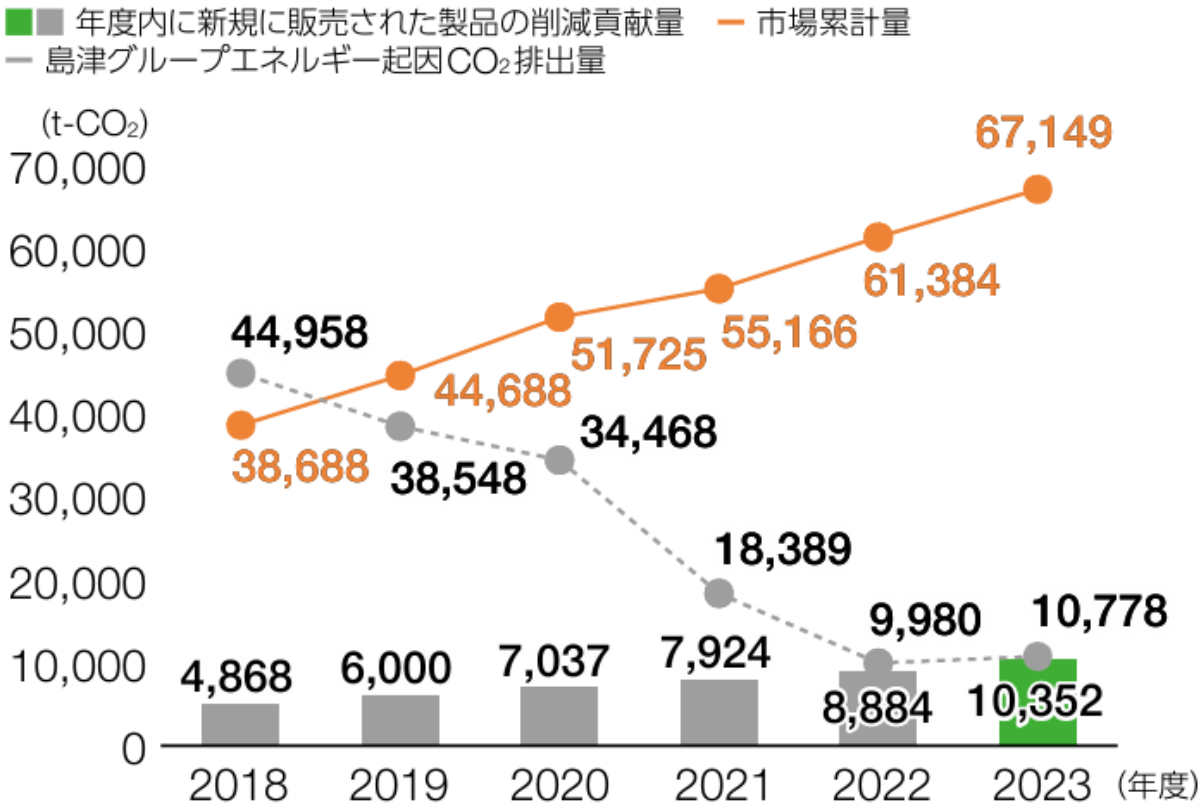
■ 地球環境の保全に配慮した製品・サービスの開発・提供を推進

環境配慮認定製品エコプロダクツPlusの要件



2030年度までに製品売上高の**30%**を
環境配慮認定製品エコプロダクツPlusとする

島津グループCO_2排出量とCO_2削減貢献量

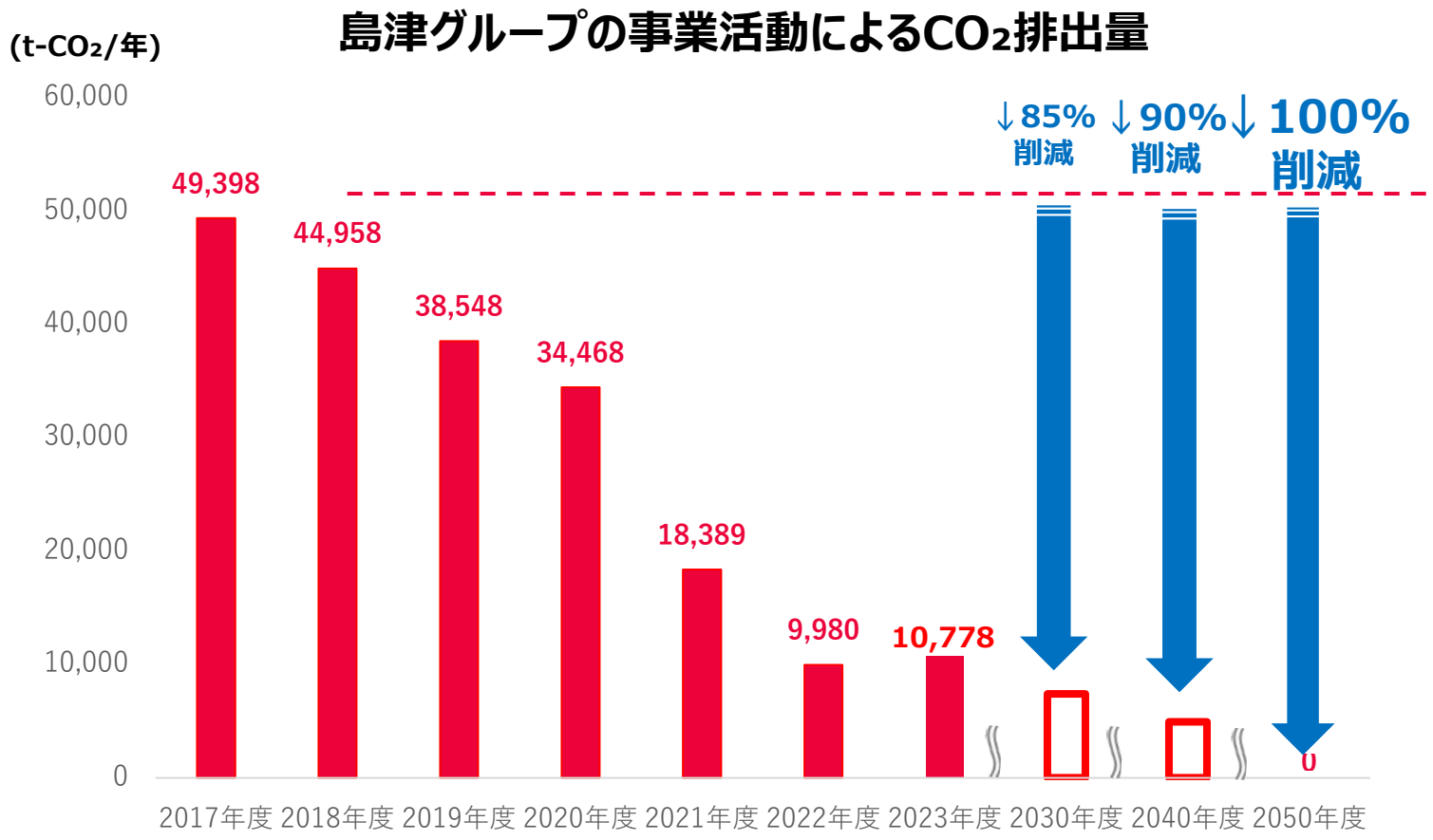


※CO_2削減貢献量：当社の製品の使用により、顧客のCO_2排出量を従来よりも削減させた量のこと。
計算式　CO_2削減貢献量＝従来製品のCO_2排出量(t/年)-新製品のCO_2排出量(t/年)で算出

Copyright © Shimadzu Corporation. All Rights Reserved.

事業における環境負荷低減「CO_2排出量の削減」

- 2022年3月に新たなCO_2排出量削減目標を設定。2050年にCO_2排出量実質ゼロとする(2017年度比)
- 中間目標として2030年度に85%以上、2040年度に90%以上削減



2019年5月：TCFD宣言への賛同

TCFD TASK FORCE ON CLIMATE-RELATED FINANCIAL DISCLOSURES

2021年3月：RE100を宣言

RE100 CLIMATE GROUP | CDP

2022年2月：「サプライヤーエンゲージメントリーダー」に選定

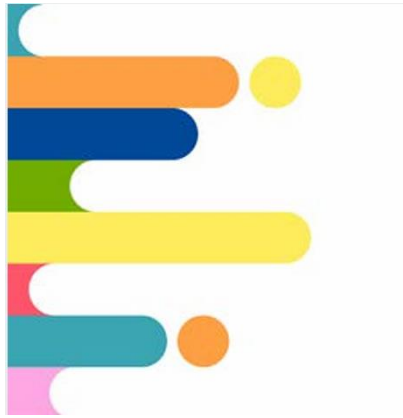
CDP SUPPLIER ENGAGEMENT LEADER 2021

2022年10月：SBT認定を取得

SCIENCE BASED TARGETS
DRIVING AMBITIOUS CORPORATE CLIMATE ACTION

Copyright © Shimadzu Corporation. All Rights Reserved.

ダイバーシティ経営の推進



Embrace Differences, Include One and All
違いを認め、受け入れよう

島津グループには、様々な属性、視点、価値観、経験、専門性をもつ仲間がいます。私たちは社員の多様性を歓迎します。その多様性を最大限に活かすことで、すべてのステークホルダーとともにイノベーションを創造し、社会課題を解決し続けることを目指します。そのために、DE&I 推進を通して一人ひとりが社会や会社への貢献を感じ、島津グループの一員として誇りを持てる環境を構築します。

女性リーダーの育成とキャリア支援

・管理職一歩手前を対象としたShimadzu Women Next Career Design研修

・フレックス、テレワーク、時間単位年休や出産育児に関する幅広い支援制度など、女性が活躍できる環境を整備

	2023年度		2030年度目標
女性管理職比率	11.1%	→	15%以上
女性育休取得率*	6年連続100%		
女性の育休からの復帰率*	3年連続100%		
	2020年度		**2023年度**
男性育休取得比率*	22.7%	→	65.5%

*単体データ

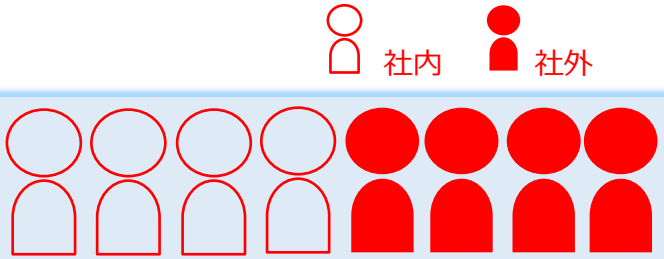
Copyright © Shimadzu Corporation. All Rights Reserved.

コーポレートガバナンス

■ 取締役会は多様性のある構成となっており、多角的な視点から議論し、適切な意思決定と監督を実現

■多様性のある構成
■経営の透明性と客観性を確保

取締役会の構成



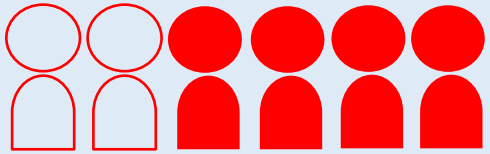
全取締役8名の**1/2**が社外取締役

※社外取締役4名のうち、2名が女性取締役

指名・報酬委員会

委員長は社外取締役

委員の**2/3**が社外取締役



※委員6名中4名が社外取締役

■純投資目的以外で保有する株式（2024年3月31日現在）
連結総資産の2.1%
連結純資産の2.9%

政策保有株式推移

銘柄数

(銘柄)

	2019年度	2020年度	2021年度	2022年度	2023年度
非上場株式	30	30	30	30	28
非上場株式以外の株式	36	30	24	22	22

貸借対照表計上額

(百万円)

	2019年度	2020年度	2021年度	2022年度	2023年度
非上場株式	525	519	612	1,530	1,381
非上場株式以外の株式	10,418	11,907	11,405	10,426	13,054

Copyright © Shimadzu Corporation. All Rights Reserved.

社外からの評価

- GPIF（年金積立金管理運用独立行政法人）が採用するESG指数へ選定
- 環境に対する様々な取り組みや、ステークホルダーとの対話の姿勢が評価されました

GPIF採用のESGインデックスへの組み入れ

GPIFが採用している次の4つのESGインデックスに採用
- **MSCI ジャパンESGセレクト・リーダーズ指数**
- **MSCI 日本株女性活躍指数**
- **S&P/JPXカーボン・エフィシェント指数**
- **FTSE Blossom Japan Sector Relative Index**

2022 CONSTITUENT MSCIジャパン ESGセレクト・リーダーズ指数 TERMS AND CONDITIONS

2022 CONSTITUENT MSCI日本株 女性活躍指数 (WIN) TERMS AND CONDITIONS

FTSE Blossom Japan Sector Relative Index

ステークホルダーとの対話姿勢に対する評価

2021年の日本IR協議会
「IR優良企業賞」を初受賞

環境への取り組みに対する評価

CDPスコア：気候変動A-　水セキュリティB

エコ・ファースト企業

先進的な環境保全の取り組みが評価され。精密機器業界で初めて、環境大臣より認定されました。

ハビタット（JHEP）評価認証

本社・三条工場内に「島津の森」（8,000㎡）を整備しています。公益財団法人日本生態協会のハビタット評価認証において、最高ランクのAAA評価を取得しています。

本社・三条工場内「島津の森」

Copyright © Shimadzu Corporation. All Rights Reserved.

1．会社概要
2．島津の科学技術と研究開発体制
3．事業概要
4．中期経営計画
5．ESGの取り組み
6．その他

Copyright © Shimadzu Corporation. All Rights Reserved.

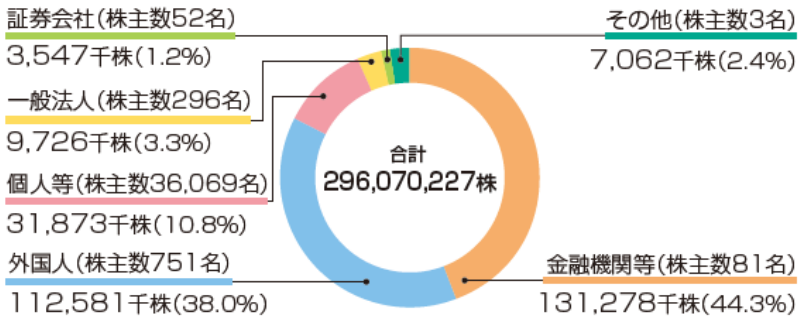
株価推移

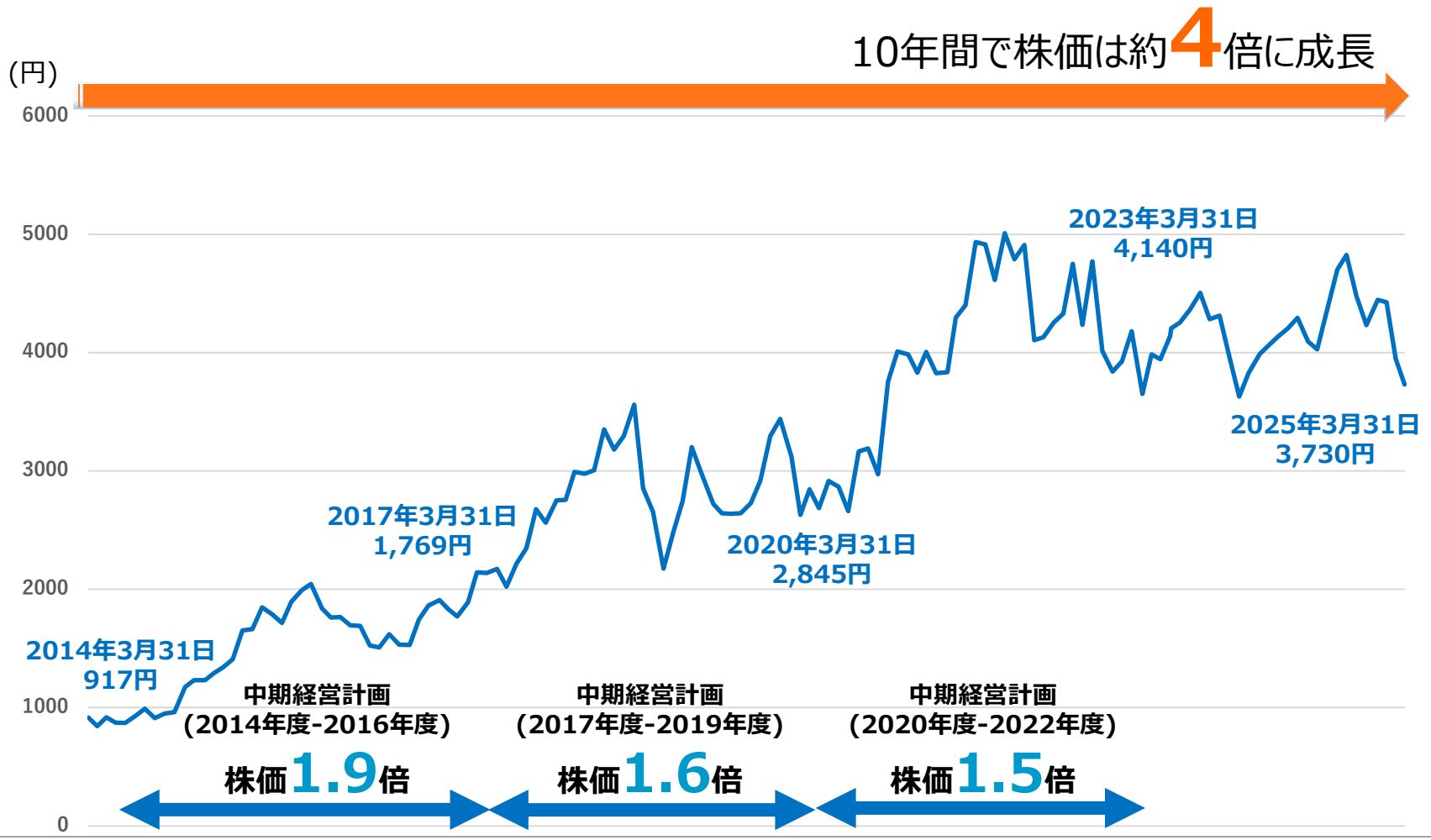
- 東証プライム市場
- 時価総額：1兆1,043億円（2025年3月31日時点）

株式の状況（2025年3月31日現在）

発行可能株式総数：800,000,000株
発行済株式総数　：296,070,227株
株主数　　：37,252名

所有者別株式分布状況

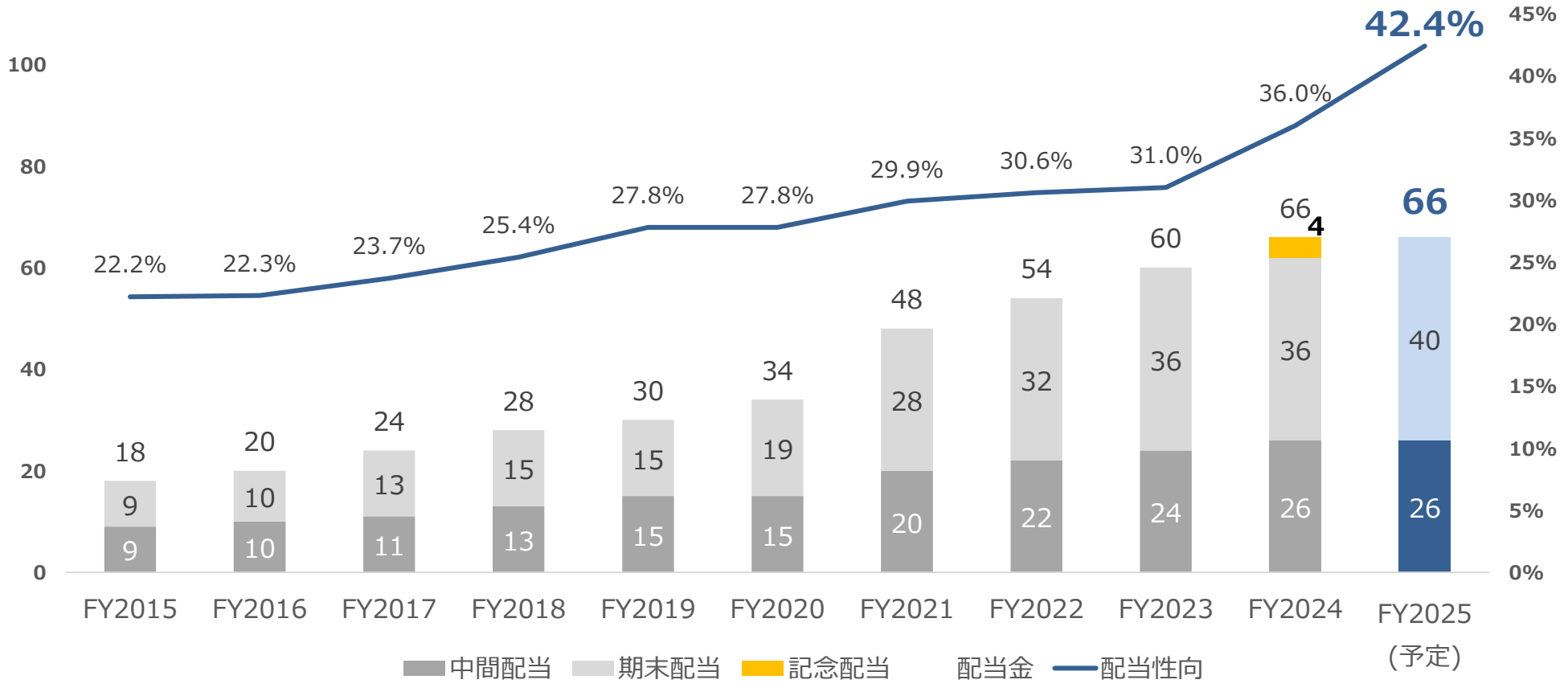




Copyright © Shimadzu Corporation. All Rights Reserved.

株主還元

- 還元方針：配当性向30%以上の維持と継続的な株主還元
- 配当金　：FY2024　記念配当4円を実施。年間配当は期初想定比4円、前年比6円増配の66円
  FY2025　1株当たり66円（中間26円、期末40円）を予定。配当性向42.4%に向上
- 自己株式の取得：FY2024中に計画通り250億円実施。580万株取得済み。



Copyright © Shimadzu Corporation. All Rights Reserved.

主要な経営指標等①

	2022年度	2023年度	2024年度	2025年度（予想）※3
売上高	4,822億円	5,119億円	5,390億円	5,150億円
営業利益	682億円	728億円	717億円	580億円
営業利益率	14.1%	14.2%	13.3%	11.3%
当期純利益	520億円	570億円	538億円	450億円
EPS	176.64	193.54	183.55	-
ROE	12.9%	12.5%	10.9%	-
PER（※1）	23.44倍	21.86倍	20.32倍	-
PBR（※2）	2.88倍	2.53倍	2.16倍	-
研究開発費	190億円	215億円	289億円	295億円
配当金	54円	60円	66円	66円
配当性向	30.6%	31.0%	36.0%	42.4%

※3.
2025年度は、円高影響と米国の関税政策の影響を織り込んだワーストケースでの業績予想

前提
90日間10%の相互関税
90日経過後は追加関税発動

主な影響
①世界経済悪化による売上減少（間接的）
②米国輸入部品のコスト増（直接的）

※1．各年度最終営業日のPERを記載　※2．各年度最終営業日のPBRを記載

Copyright © Shimadzu Corporation. All Rights Reserved.

主要な経営指標等②

	2021年度	2022年度	2023年度	2024年度
総資産	5,605億円	6,189億円	6,740億円	6,722億円
純資産合計	3,812億円	4,235億円	4,923億円	4,981億円
自己資本比率	68.0%	68.4%	73.1%	74.1%
営業活動によるキャッシュフロー	634億円	483億円	301億円	520億円
投資活動によるキャッシュフロー	▲60億円	▲345億円	▲160億円	▲232億円
フリーキャッシュフロー	574億円	138億円	141億円	288億円
財務活動によるキャッシュフロー	▲157億円	▲194億円	▲211億円	▲484億円
設備投資	164億円	225億円	225億円	229億円
減価償却	162億円	175億円	186億円	199億円

Copyright © Shimadzu Corporation. All Rights Reserved.

SHIMADZU

Excellence in Science

ブランドステートメント　“Excellence in Science”

私たちSHIMADZUグループは、世界中のお客様がさまざまな新製品を開発するために、また環境の保全や改善のために、あるいは人々の健康や暮らしをよりよくするために、製品やサービスをご提供してまいりました。このブランドステートメントは、その誇りを胸に刻み、さらに優れた技術・製品・サービスをご提供できるよう、いっそうの技術の研鑽、知識の集積につとめ、「科学において卓越した存在」と認められるよう、社会と自らにコミットするものです。

お問い合せ先：

㈱島津製作所　コーポレート・コミュニケーション部 IRグループ

電話：075-823-1673　E-Mail：ir@group.shimadzu.co.jp